



FBC テレビ

R7.8.21

厳しい暑さが続く中、福井市内で園児が昔ながらの稲刈りに挑戦し、農作業の大変さを通して米の有難味を学んでいました。

今日の県内は午前中から気温が上がり、日中の最高気温は福井で34.9度となりました。

こうした中、福井市内の水田では社中央第一・第二子ども園の園児合わせて38人が、水分補給など熱中症対策をしながら、4月に手植えしたハナエチゼンの稲刈りに挑戦しました。今年は水不足で生育が心配されましたが、例年通り70センチほどに育ち、園児たちは地元農家にコツを教わりながら刈り取っていきました。

刈り取った稲は直径10センチほどに束ねて、ハの字で天日干しにするハサ掛けにしました。来月10日には稲の脱穀も体験する予定です。

